△▼△▼△▼ラクトヒロックス簡易説明書▼△▼△▼△

◆━ラクトヒロックスとは━◆

ラクトヒロックスは有機物と一緒に使わなければ効果はありません。ラクトヒロックスに含まれる乳酸菌、酵母、枯草菌など 10 数種類の有用微生物が有機物を分解し、団粒構造の形成を促進し土壌改良の手助けをします。

◆━有機物と鋤き込みの場合━◆

◇定植の2週間～1ヶ月前に、肥料成分や堆肥等投入時に、
5坪あたり 20～30g のラクトヒロックスを、米ぬかまたは
土 5～10kg に混合し、散布後鋤き込みます。
◇収穫後の残渣や草などの緑肥の鋤き込みにも使用出来ます。
◇土壌が乾いている場合は水まきを行って下さい。
◇使い始めや病害が気になる場合は、2～3 倍量お使い下さい。
使いすぎによる害はありません。分解が早くなります。

◆━堆肥の作成━◆

◇材料100kg当りラクトヒロックスを50g（米ぬか 5～10kg に混合）
使用します。
◇ラクトヒロックスを振りかけながら材料を積み上げ鎮圧します。
◇ムシロなどを被せるか、袋の場合は空気を抜き、口を縛ります。

■□■ 注意 ■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

○微生物は紫外線を嫌います。早朝や夕暮れ時に作業して下さい。
○農薬、生石灰や石灰窒素との混合は不可です。散布後2週間～1ヶ月立ってからご使用下さい。カキ殻石灰などの有機石灰、苦土石灰は混合可能です。
○開封後は口をきつく縛り冷暗所にて保存し、製造日より1年以内に使用して下さい。

△▼△▼△▼△▼Hirosho Co., Ltd. ▼△▼△▼△▼△